

# 椿山南瓜饅頭

- 仁淀川町椿山(つばやま)地区は、利用できる土地が少なく、以前は焼畑が行われていました。現在は、高齢者7名が暮らす、いわゆる限界集落。
- さがしい(急峻な)斜面の、僅かな畑で育てたカボチャ。これをお饅頭にして、カシワ餅風に野山にあるサルトリイバラという蔓の葉で巻きました。
- 県外からやってきたお客さんに食べてもらったら、殊の外好評で、ばあちゃんたちがちょっとづつ作って、ちょっとづつ売って見ようと思いい立ちました。
- 素朴ですが、自然と人の恵みがぎゅと詰まっています。



## 椿山地区

畑が無いので、このような山の斜面を焼いて畑にし、野菜を作り、その後ミツマタを植え、そして雑山(森)に戻すというくり返しを行って来ました。

自然と共存する、循環型生活がありました。